



**株式会社三井E&Sホールディングス**

2018年度第1四半期 決算説明資料  
2018年8月8日

# 2018年度第1四半期 概要

## 決算概要

- ◆ 受注高 1,346 億円 ↗  
✓ ディーゼル、エンジニアリング子会社が好調、新造船4隻（連結）
- ◆ 売上高 1,529 億円 ↘  
✓ 売上高は順調に進行
- ◆ 経常利益 30 億円 ↗  
✓ 懸案の北米案件が完工し181Qは堅調に推移

## 2018年度 見通し

- ◆ 受注高 9,000-11,000億円 →
- ◆ 売上高 6,700億円 →
- ◆ 経常利益 200億円 ↗  
✓ MODECで20億円の上方修正

## 181Q トピックス

- ◆ 常石造船と商船事業分野の業務提携契約締結（5月）
- ◆ ディーゼルエンジン累計生産1億馬力達成（6月）
- ◆ インドネシア／ブラウン港向け港湾荷役クレーンを受注（5月）
- ◆ 印南（いなみ）風力発電株式会社向け風力発電所が完成（5月）

# 2018年度第1四半期 決算概要

受注高 1,346億円  売上高 1,529億円  経常利益 30億円 

(単位：億円)

	17年度1Q	18年度1Q	増減
受注高	1,074	1,346	+272
売上高	1,622	1,529	▲93
営業利益	▲99	11	+110
(営業利益率)	(▲6.1%)	(0.7%)	(+6.8)
経常利益	▲70	30	+100
(経常利益率)	(▲4.3%)	(2.0%)	(+6.3)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲101	5	+106

# 2018年度第1四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	受注高			売上高			営業利益			経常利益
	171Q	181Q	増減	171Q	181Q	増減	171Q	181Q	増減	181Q (※参考値)
船舶	77	136	+59	290	226	▲64	▲26	▲8	+18	▲5
海洋 開発	331	300	▲31	502	469	▲33	23	14	▲9	25
機械	307	542	+235	383	437	+54	30	14	▲16	17
エンジニア リング	158	234	+76	277	222	▲55	▲129	▲11	+118	▲10
その他	202	134	▲68	170	175	+5	3	2	▲1	2
合計	1,074	1,346	+272	1,622	1,529	▲93	▲99	11	+110	30

(※参考値) セグメント別経常利益につきましては、当社参考数値であり監査を受けたものではありません。

# 2018年度 連結業績通期見通し

(単位：億円)

	期初見通し (18年度)	今回見通し (18年度)	増減
受注高	9,000~ 11,000	9,000~ 11,000	0
売上高	6,700	6,700	0
営業利益	100	120	+20
経常利益	180	200	+20
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	50	+10

※ 前提為替レート US\$ = 105円

※ US\$ 1円の変動が営業利益に与える影響⇒約4億円

# 2018年度 セグメント別通期見通し

(単位：億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益
船舶	1,100	900	▲90	▲90
海洋開発	4,000~ 6,000	2,200	120	200
機械	1,700	1,800	70	80
エンジニアリング	1,200	800	▲30	▲30
その他	1,000	1,000	50	40
合計	9,000~ 11,000	6,700	120	200

# 181Q トピックス



左：常石造船株式会社 取締役副社長 小葉竹 泰則氏  
右：三井E&S造船株式会社 社長 古賀 哲郎

## 常石造船と商船事業分野の業務提携契約締結

本業務提携契約は、常石造船と三井E&S造船の経営の独立性を維持した上で、両社が協力して、設計開発力やコスト競争力の強化及びこれらを通じた受注の拡大等を目指すことにより、造船事業において持続的な成長を実現することを目的としております。提携内容は、以下のとおりです。

- ①共同研究開発、②設計及び製造の技術協力、
- ③調達活動の相互協力、④製造拠点の相互活用、
- ⑤人材交流、⑥人的及び技術的資源の効果的な活用

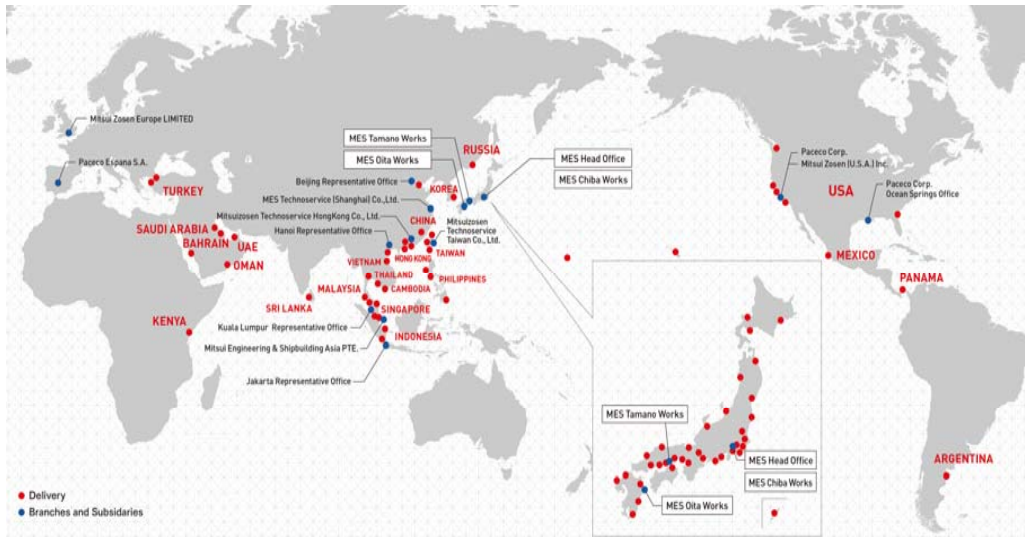
## 三井-MAN B&Wディーゼルエンジンの累計生産1億馬力達成

1926年にデンマーク・B&W社（現：MAN Energy Solutions社）とディーゼルエンジンに関する技術提携を結んで以来、世界のトップメーカーとして生産実績を積み重ねています。1928年の1号機製作から90年を経て、この2018年6月に6,555台目で累計生産1億馬力を達成しました。今後もNOx規制対応ディーゼルエンジンやガス焼きディーゼルエンジンの受注実績を生かした受注活動を展開し、これまで同様に、バルカーやタンカー、自動車運搬船、LPG船等向けさまざまなエンジンの受注にも注力していきます。



1億馬力該当機（11S90ME-C10.5）

# 181Q トピックス



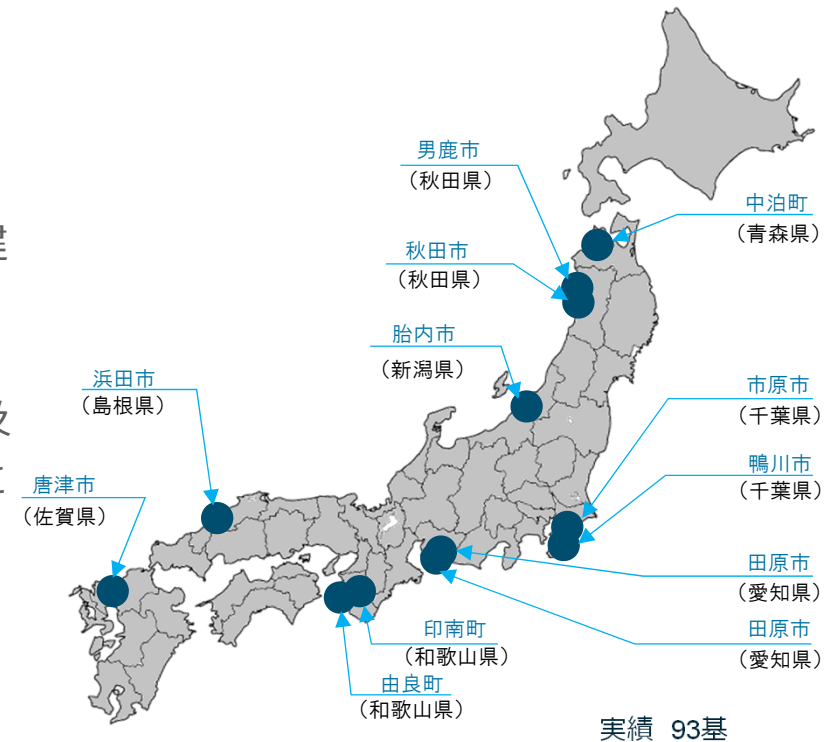
実績 ポーターナ370基、トランスターナ1300基以上

## インドネシア／ブラウン港向け港湾荷役クレーンを受注

インドネシア共和国ブラウン港向けに三井パセコポーターナ®（岸壁用ガントリークレーン）4基を受注しました。当社は東南アジア地区を重要市場ととらえ、マレーシア等に於ける豊富な納入実績を基にフィリピン、ベトナム、カンボジア、インドネシアと域内各国で継続的な受注を続け、信頼される日本企業であり続ける事を目指しています。

## 印南（いなみ）風力発電株式会社向け風力発電所が完成

本発電所は、2016年1月より約29カ月（約2年5カ月）を要して建設したもので、約27.2ヘクタールのエリアに2,000kW型風車を13基設置しました。風車の設置にあたり、中山間地区の自然環境に配慮するとともに、自然災害対策を考慮し地元との共生を目指した設計及び建設に努めました。今後は、陸上での風力発電所工事に留まらず、洋上風力発電所の受注を目指します。



実績 93基



# 参考資料) 2018年度第1四半期 損益計算書の概要

(単位：億円)

	17年度1Q	18年度1Q	増減
売上高	1,622	1,529	▲93
<b>売上総利益</b>	<b>32</b>	<b>139</b>	<b>+107</b>
販売費及び一般管理費	131	128	▲3
<b>営業利益</b>	<b>▲99</b>	<b>11</b>	<b>+110</b>
営業外収益	47	38	▲9
営業外費用	18	19	+1
<b>経常利益</b>	<b>▲70</b>	<b>30</b>	<b>+100</b>
特別利益	10	0	▲10
特別損失	4	4	0
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>▲64</b>	<b>27</b>	<b>+91</b>
法人税等	26	16	▲10
非支配株主利益	11	6	▲5
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>▲101</b>	<b>5</b>	<b>+106</b>

# 参考資料) 2018年度第1四半期 貸借対照表の概要

(単位：億円)

	17年度末	18年度1Q	増減
<b>資 産 合 計</b>	<b>10,292</b>	<b>9,760</b>	<b>▲532</b>
(うち 現金預金)	937	1,060	+123
(うち 売上債権)	2,438	2,154	▲284
(うち 有形・無形固定資産)	3,823	3,798	▲25
<b>負 債 合 計</b>	<b>6,724</b>	<b>6,265</b>	<b>▲459</b>
(うち 前受金)	569	555	▲14
(うち 受注工事損失引当金)	103	98	▲5
(うち 有利子負債)	2,553	2,394	▲159
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>3,568</b>	<b>3,495</b>	<b>▲73</b>
(うち 自己資本)	2,392	2,344	▲48

自 己 資 本 比 率	23.2%	24.0%
D E レ シ オ	1.1倍	1.0倍

## 参考資料) 新造船・舶用ディーゼル機関の状況

### 2018年度1Q 新造船受注内訳 (三井E&S造船) (隻)

	受注	引渡	受注残
一般商船	2	3	19
艦船・官公庁船		-	6
合計	2	3	25

### 舶用ディーゼル機関 (三井E&Sマシナリー)

	2017年度1Q累計		2018年度1Q累計	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注	13	22	49	92
売上	33	82	46	123
受注残	119	354	136	320
生産実績	39	99	39	98



# MITSU I E&S

## 免責事項

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性があります。